

禮部加給一連の箱以

持論太平記お傍し義
都念付上、家及三徳
送付に成下不堪上謝、
即小主分お成お傍証
呈上、
銀尾式法料入為子孝続、
義二付三上教授、お傍示
あ細お承り、但し月氏
川奉廿七日二京都、出張出、
乃そいあ、お酒談おし授
飯尾式、お傍りお、
拙文早達ッ批ふに成下可
多忙中、お下寧、高きお
辱し、不堪感御、其由
お越ッ祝、お傍、お傍

庚子三月廿四

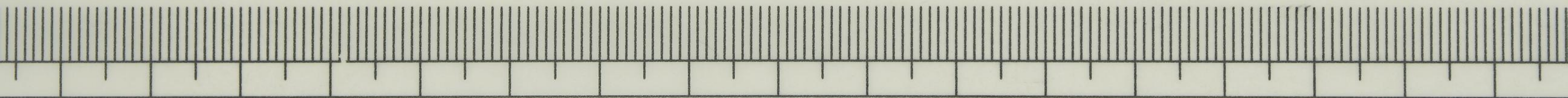
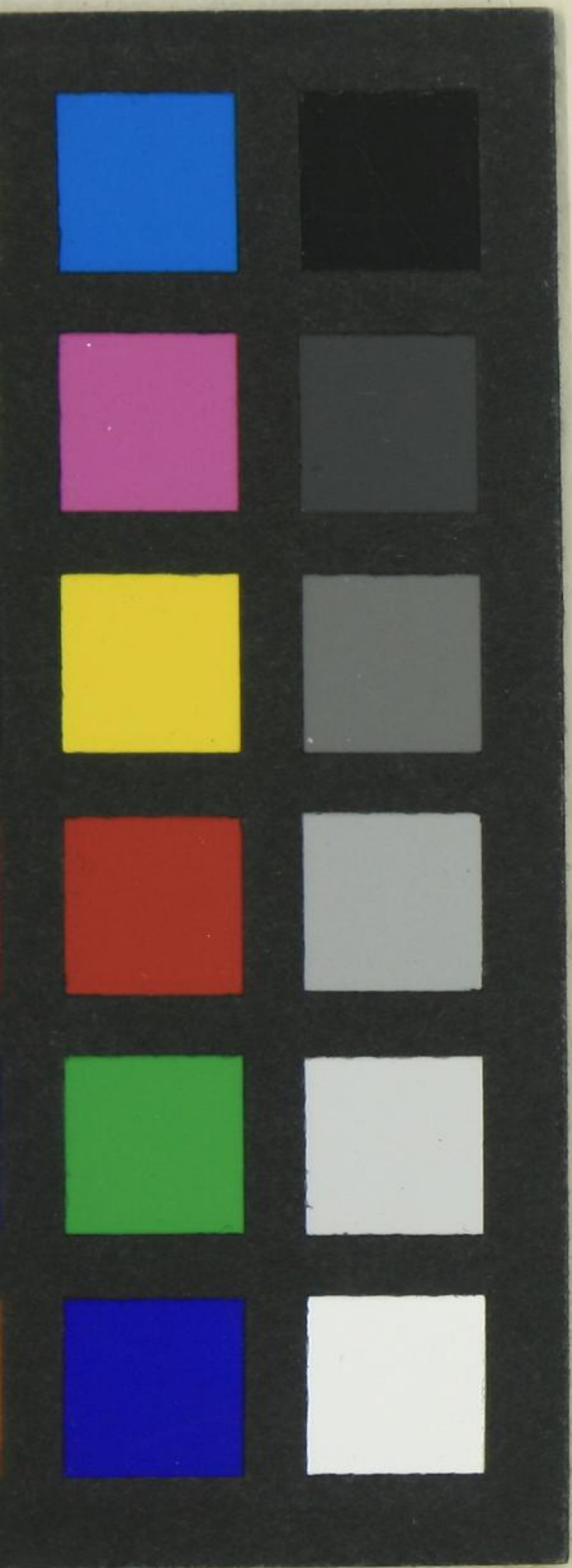
田中義成

重野先生

研小

202





75

80

85

9